

ひとなえひとなえにねがいをこめて

かわま小学校二年 こんの とらま

「今年もはりきって田うえするぞ。」

五月、家ぞくみんなで、一ばん大きい田んぼの田うえをした。今年は、ひいじいちゃんが入いんしていたので、ぼくはなえはこびとさしなえをたんとうした。なえは十二センチくらいにのびていて、なえはこの中にぎっしりうわっている。トラックから下ろすのにもてみると、とてもおもくおとしそうになった。

「おじいちゃんとおばあちゃんが大きめにそ

だてたなえだからいっしょにははこぼうね。」

お母さんがきつたてくれた。お母さんの言

ばを聞いて、ひとなえひとなえに、おじいちゃん

とおばあちゃんの、

「いいこめにそだててくれよ。」

と言うねがいがこめられてるのだなと思った。

田んぼとハウスを何でもおおくしなえをは

こんだ。一つの田んぼの田うえをするのに、

百三十まいのなえはこびはこんだ。

「よくがんばったね。たすかったよ。」
 おばあちゃんがほめてくれた。うれしくて、
 きしなえもはりきって手つだった。きかいて
 うえられない田んぼのかどをおにいちゃんど
 うえた。さく年も手つだった。たからかんたんだ
 と思ったけど、足がぬけなくてしりもち
 をつきそうになりながらうえた。少しまがっ
 てしまったり、ななめになっ
 てしまっ
 たけど、

「りっぱなこめにそだつんだよ。いねかりを
 楽しみにしているよ。」

と気もちをこめてうえた。田んぼがなえでい
 ばいになると、うれしい気もちになっ
 た。

「みんなが手つだっ
 てくれたからたすかっ
 たよ。ありがとうね。」

おにいちゃん
 がほめてくれた。

今、いねの花がさきはじめている。ひいじ
 いちゃん
 は天国で見
 てくれているかな。おい
 しいおこめが
 できるよ
 うに見まも
 っていてね。